

ProMED-mail情報 2019年7月版

ProMED-mail <https://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <https://www.forth.go.jp>)に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

| 掲載日 | 表題 | 概要 |
|-----|----------------------|---|
| 29日 | 腸チフス ジンバブエ | ジンバブエ首都ハラレ市の当局者より、ここ6ヶ月間に新たな858例の腸チフス患者の報告があった。グレンビューとブディリロ郊外が最もひどい状況。現在のところ死者は報告されていない。発生の理由は、清潔な水を絶えず供給できないことと下水管の爆発や漏水への対応が遅れていることである。 |
| 28日 | クリミア・コンゴ出血熱 パキスタン | 年初以来、新たに1名クリミア・コンゴ出血熱患者がジェンナ大学メディカルセンターより報告された。その患者はクエッタ在住で、2日間の発熱と鼻出血があり救急部に運ばれ院内では隔離された。動物との接触あり。現在のところ、8名のクリミア・コンゴ出血熱患者の報告が同院よりあり、そのうち5名は治癒退院、2名は死亡、1名は入院治療中。 |
| 24日 | 百日咳 米国 | カリフォルニアにおける百日咳の急速な流行を公衆衛生局が公表。この2週間で、800例以上の症例が報告された。2019年6月10日に、2013年の全報告数より多い3,458例を保健当局が報告。流行は3～5年の周期であり最後は2010年であった。今年はその流行年。 |
| 23日 | サルモネラ感染症 フランス | フランスにて、イタリアから輸入した生ハム「コッパ」によるサルモネラ患者を83名認め、そのうち13名が病院で治療中。6月初旬に最初の患者が報告されて、最後は7月初旬であった。パスツール研究所に送られた患者の便からは血清型ネズミチフス菌が検出。 |
| 18日 | 梅毒 カナダ | アルバータ州で梅毒の流行宣言。アルバータ公共医療によると、梅毒患者数が1948年以来空前の数字となり、最近4年間に10倍増、536例。また先天性梅毒も22例確認。 |
| 13日 | デング熱 ベトナム | 2019年に入り6ヶ月でホーチミン市におけるデング熱患者が24,000名超であるとベトナムが7月5日に発表。去年の同じ時期と比べ、176%の患者数増加。ホーチミン市の病院では6月以降、去年の同時期の約2倍の798名の患者を収容。現時点の報告では、去年の同時期の3.1倍の81,132名の患者数と4名が死亡。ハノイ市は6月23日時点で昨年度の約3倍の548名を受け入れている。 |
| 10日 | A型肝炎 米国 | 2017年3月以来、全米で合計2,137例、うち入院1,256例(59%)、死亡208例の流行。CDCは各地方の対策支援。ワクチン1回接種で、95%の感染阻止抗体を得て11年以上持続可能な抗体価を得られる。 |
| 8日 | 日本脳炎 インド | 2019年1月より49名の命を奪った脳炎に対して、医師、医療従事者、監視員、政府医療関係者は休み返上で対応を行った。政府は増え続ける脳炎に対応するため私立病院の協力を得て、重篤な患者には資金援助を延長するとした。1～7月までに脳炎により少なくとも49名が死亡し、検査陽性者は190名であった。 |
| 6日 | トリパノソーマ ザンビア | 19歳ドイツ人女性がザンビア滞在中に、アフリカトリパノソーマと診断。5月31日運転中にふくらはぎを虫に刺されたが、腫れはすぐに消失。6月11日高熱、悪寒、激しい頭痛が出現し、刺傷部は腫れ、青黒く変色。マラリア陰性。6月16日トリパノソーマと診断、17日に治療を開始、7月2日ドイツに帰国し治療継続中。 |
| 4日 | コレラ イエメン | 保健省は2019年6月10日～16日の間にコレラ疑い20,264例、死亡15例、14%が重症と報告。2018年1月1日～2019年6月6日、疑い例は779,849例、関連死は1,178例。疑い患者数は第8週から増えはじめ、15～21週に一旦減少し、第22～24週では再び増加。 |
| 2日 | 狂犬病 フィリピン | 2019年5ヶ月間に狂犬病による死亡者が17名であり、2018年の全死亡者数と同数とフィリピン保健省が発表、西ネグロス州の死亡者が最多であった。ワクチン不足のため、レガスピ市は未接種犬数が最も多い。これにより地方自治体は、狂犬病予防ワクチンの購入に使用される資金を入手するため緊急事態を表明。 |
| 1日 | 麻しん 台湾 | 2019年6月に1歳女児麻しん患者と接触した7ヶ月男児が麻しんを発症。両者共に同じ病原菌であった。女児は3月にベトナム渡航歴があり、そこで感染したとされた。2名と接触をした510名は、保健当局によって観察中。2019年台湾では101名の麻しんを確認、そのうち35名が輸入例。台湾への感染輸入国としてはタイ、フィリピン、ベトナムが上位である。 |